

平成 21 年度環境技術実証事業 VOC 排出抑制技術・脱臭技術分野  
 (中小事業所向け VOC 排出抑制技術・脱臭技術)  
 実施計画 (案)

財団法人 九州環境管理協会

1. 目的

本事業は、環境技術実証事業 VOC 排出抑制技術・脱臭技術分野 (中小事業所向け VOC 排出抑制技術・脱臭技術) における平成 21 年度の実証機関として選定された (または選定予定の) 財団法人九州環境管理協会において、平成 21 年度 環境技術実証事業実施要領 (以下、「実施要領」という。) 及び中小事業所向け VOC 排出抑制技術・脱臭技術実証試験要領 (第 1 版) (以下、「実証試験要領」という) 等に基づいて、実証試験を行うものである。

2. 実施体制

実証試験体制及び業務に従事する職員の氏名等を、それぞれ図 1 及び表 1 に示す。

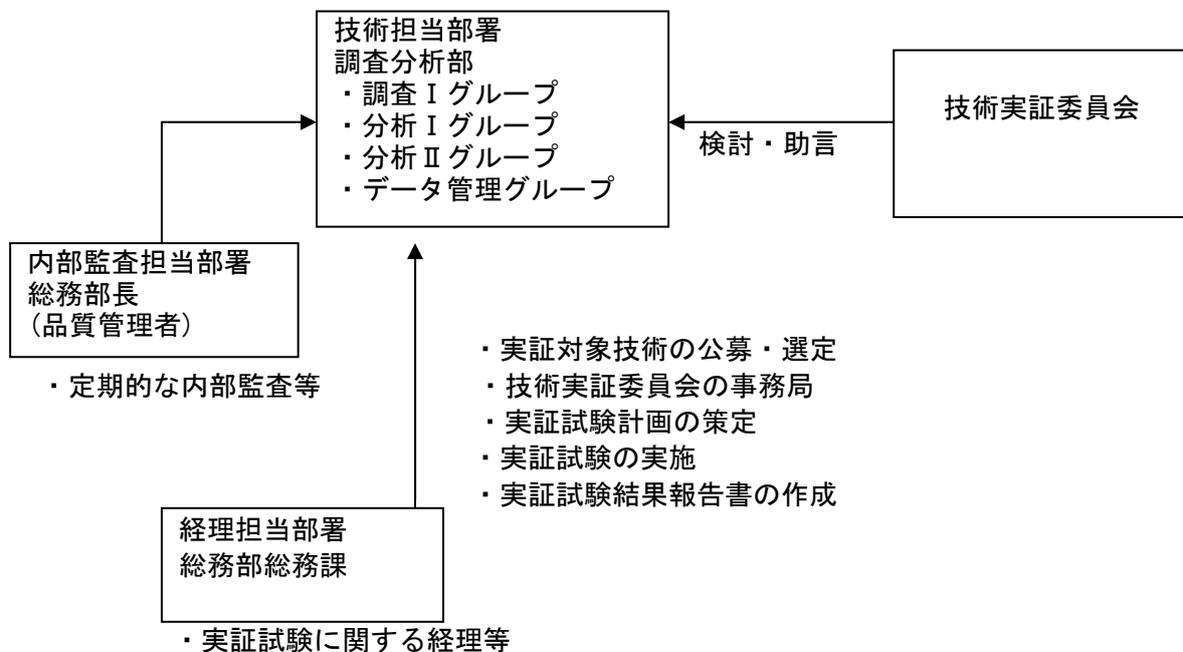


表1 業務に直接従事する職員の役職及び氏名

	所属部署名	役職	氏名
実証試験担当	調査Ⅰグループ	課長	○辻 勝也
		係長	藤原 浩二
		係長	川村 秀久
		主任	酒本 大二郎
		研究員	後藤 祐哉
	分析Ⅰグループ	課長	芦川 信雄
		係長	田籠 久也
		主任	芥川 奈美恵
	分析Ⅱグループ	課長	仲島 賢
		係長	上田 守男
主任		稲津 智彦	
データの 検証等担当	データ管理グループ	課長	○岡村 正紀
		係長	古田 佳正
		係長	平井 英治
経理担当	総務部総務課 総務部総務課	係長	○大塚 康行
		係長	川上 博子
		主任	大木 一恭

(注) ○印は実証運営機関との連絡担当



#### 4. 技術実証委員会の設置・運営体制

実施要領、実証試験要領等に基づき、有識者（学識経験者等）により構成される技術実証委員会を設置し、委員会の運営を行う。委員の構成は以下の表2のとおりとする。また、委員会の開催回数は年4回程度とする

表2 技術実証委員会の設置・運営体制

技術実証委員会を運営する部署	財団法人 九州環境管理協会
開催予定	7月 第1回実証委員会(実証技術選定) 8月 第2回実証委員会(試験方法検討) 10月 第3回実証委員会(現地ご視察) 11月 第4回実証委員会(結果検討)
委員の構成(案)	財団法人福岡県環境保全公社リサイクル総合研究センター長 花嶋 正孝 氏  (社)におい・かおり環境協会 会長 岩崎 好陽 氏  北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科 アクア研究センター 教授 門上 希和夫 氏  福岡県保健環境研究所環境科学部大気課専門研究員 下原 孝章 氏

#### 5. 実証対象技術の公募・選定

実施要領、実証試験要領等に基づき、実証対象技術の公募・選定を行う。実証対象技術の選定に当たっては、技術実証委員会における検討等を踏まえることとし、選定結果については、実証運営機関の承認を得ることとする。

選定数としては、1技術選定することを予定する。

#### 6. 実証試験計画の策定

実施要領、実証試験要領等に基づき、各実証対象技術ごとに、実証試験計画を策定する。実証試験計画の策定に当たっては、技術実証委員会で検討した上で作成することとし、策定後すみやかに実証運営機関に提出する。

#### 7. 実証試験の実施

実施要領、実証試験要領、実証試験計画等に基づき、各実証対象技術ごとに、実証試験を行う。

#### 8. 実証試験結果報告書の作成

実施要領、実証試験要領等に基づき、実証試験結果報告書を作成する。実証試験結果報告書の作成に当たっては、技術実証委員会での検討を経ることとし、実証運営機関の承認を得る。